

日本生物学的精神医学会

会 員 通 信 第55号

目 次

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 1. 日本生物学的精神医学会理事会議事録    | 倉知正佳 (理事長)    |
| 2. 第31回日本生物学的精神医学会のお知らせ | 林 拓二 (第31回会長) |

日本生物学的精神医学会理事会議事録

日 時：2008年9月10日(水) 14:00～16:15  
場 所：ANA クラウンプラザホテル富山 4階  
「孔雀の間」

出席者：17名

倉知正佳 (理事長・会長), 大森哲郎, 神庭重信, 小山司, 齋藤利和, 中村純, 西川徹, 丹羽真一, 野村総一郎, 加藤進昌, 曾良一郎, 平安良雄, 前田潔, 本橋伸高, 米田博 (以上理事), 林拓二 (以上監事), 尾崎紀夫 (WFSBP Secretary-Treasurer)

欠席者：2名

加藤忠史, (理事), 大久保善郎 (以上監事)  
(順不同, 敬称略)

議 題：

1. 前回 (2008/2/1) 理事会議事録承認について
2. 理事長報告
3. 会計報告 (前田理事, 米田理事)
  - ① 2007年度決算報告 (2007年1月1日～12月31日)
  - ② 2008年度予算案 (2008年1月1日～12月31日)
4. 会員数及び新入会員に関する件 (大森理事, 小山理事)
5. 各委員会報告
  - 1) 総務委員会 (大森理事, 小山理事)
  - 2) 国際交流委員会 (神庭理事, 齋藤理事)
  - 3) 編集委員会 (野村理事, 中村理事, 曾良理事)
  - 4) 倫理委員会 (丹羽理事, 本橋理事)
    - ①ブレインバンク・ワーキンググループについて

- 5) 将来計画検討委員会 (加藤 (進) 理事, 平安理事)
  6. 学会賞選考の件 (西川理事, 加藤 (忠) 理事)
  7. 国際学会発表奨励賞選考の件 (西川理事, 加藤 (忠) 理事)
  8. WFSBP 報告 (尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer)
  9. 名誉会員推戴の件 (大森理事)
  10. 第30回年会と2nd WFSBP Asia-Pacific Regional Meeting (倉知会長)
  11. 第31回年会準備状況報告 (林次期会長)
  12. 第32回年会準備状況報告 (中村理事)
  13. その他
- ※引き続き 16:15～17:00 に2nd WFSBP Asia-Pacific Congress 準備会議を開催

1. 前回理事会 (2008/2/1) 議事録承認について  
議事録 (案) が配布された。後日, 訂正箇所があれば指摘いただくこととした。
2. 理事長報告 (倉知理事長)  
倉知理事長より, 挨拶があった。  
前回議事録を基に議論内容が確認され, 議題に従って検討事項の確認がされた。  
また, 第30回日本生物学的精神医学会年会 (第2回 WFSBP Asia-Pacific Congress) への協力に対し謝辞が述べられた。
3. 会計報告 (米田理事)
  - 1) 2007年度決算について  
収入 13,336,260 円に対し, 支出 14,782,643 円であり, やや赤字ではあるが, これは海外の若手招聘のために基金会計に 1,500,000 円を繰入しているためで, 学会会計全体とすれば, 概ね適正に運営されていることが報告された。次期繰越金は 35,052,338 円で

ある。

2007年度決算は林, 大久保両監事により監査され, 適正に処理されていることが認められたことが報告され, 承認された。

#### 2) 2008年度収支予算案について

前年度の実績を踏まえて計上したことが報告された。承認された。

また, WFSBPでのシンポジウムへの補助費用として計上されている世界連合派遣費1,500,000円について検討され, 次回バリ大会の補助について, 齋藤理事, 加藤(進)理事が企画したシンポジウムについて1名につき約20万円とすることとなった。なお, 本年度中にはWFSBPは開催されないため, 2008年度予算には計上されない。

### 4. 各委員会報告

#### (1) 総務委員会(大森理事)

##### 1) 会員異動報告

2008年8月31日現在で1,588名の会員がいることが報告された。

内 訳: 名誉会員 11名  
評議員 199名  
正会員 1,375名  
賛助会員 3社

物故者: 金野 滋(東京医科歯科大学保険管理センター)

宮本 歩(好寿会美原病院)

西浦信博(西浦会京阪病院)

##### 2) 新入会員の報告

新入会員42名が報告され, 承認された。

##### 3) 法人化についての検討

引き続き法人化について検討していることが報告され, 新制度の公益法人・一般社団法人(非営利徹底法人)のメリット・デメリットについて説明された。また, 関連学会の状況についても説明され, 検討された。また, 公認会計士による会計監査の必要性などについて検討され, 継続的に審議することになった。

#### (2) 国際交流委員会(齋藤理事)

アジア地区の研究者との交流強化について検討されていることが報告された。日韓学術交流事業

への参加者の選定について, 公募することとなった。アジア地区の研究者との交流, World Congressにおけるシンポジウム提案の募集のシステム作りについても継続的に審議されることとなった。

#### (3) 編集委員会(曾良理事)

機関誌「脳と精神の医学」の発刊状況について報告された。

また, 9月21日に開催された第1回あり方ワーキンググループについて報告された。ワーキンググループは編集委員より推薦された若手研究者で構成され, 機関誌の発刊, 編集などについてあり方を検討することを目的とし, 当日は様々な提案があり, 提案事項について今後検討していく予定である。

野村委員長の多忙により任期途中ではあるが, 本年12月1日より曾良理事に交代することとなった。なお, 曾良理事の任期は野村委員長の残りの任期に加えて2年とする。

#### (4) 倫理委員会(丹羽理事)

症例報告時の倫理規定の作成について,

外科系学会の指針を元にプライバシー保護に関する指針を作成する予定であることが報告された。完成した指針については持ち回り理事会にて審議いただきたいとの提案があった。

また, 精神疾患ブレインバンクに関して, 会員に対して実施したアンケート調査結果が報告された。ブレインバンクの設立を望む意見が多勢であったため, 実際にブレインバンクを設立するための活動をすることが提議され, 了承された。年会期間中の9月12日にブレインバンクに関する委員会を開催し, 今後の方針について検討する予定である。

#### (5) 将来計画委員会(加藤理事)

今後の年会開催における合同開催について, より効果的に会員に寄与できるような提携先などについて検討されたことが報告された。日本神経化学会, 日本神経科学会, 日本神経精神学会などが合同開催あるいは同時開催の提携先として想定されるが, さらに検討されることとなった。

### 5. 学術賞選考の件

第16回日本生物学的精神医学会学術賞受賞者について以下の通り受賞者が報告された。

授賞式は9月12日(金)19:15よりとやま自遊館にて懇親会(Congress Dinner)中に行われる。

受賞者: 滝沢 龍(東京大学大学院医学系研究科精神医学)

受賞論文: Reduced frontopolar activation during verbal fluency task in schizophrenia: a multi-channel near-infrared spectroscopy study.

掲載誌: Schizophrenia Research, in press

#### 6. 国際学会発表奨励賞選考の件

国際学会発表奨励賞について、受賞者が以下の通り報告された。授賞式は学会賞と同様に9月12日に行われる。

受賞者: 窪田 美恵(理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム)

発表演題: Differential gene expression in the brain of mutPOLG Tg mice: a model for bipolar disorder based on mitochondria.

参加学会: The 3rd Cold Spring Harbor Laboratory / Welcome Trust Conference Integrative Approaches to Brain Complexity

受賞者: 肥田 道彦(日本医科大学付属病院精神神経科)

発表演題: Cerebral response to social interaction including human voice in schizophrenia: an fMRI study.

参加学会: 14th Biennial Winter Workshop on Schizophrenia and Bipolar Disorder

また、国際学会発表奨励賞のあり方について改めて検討されることとなり、国際交流委員会、将来計画委員会と合同して検討することとなった。

英文名称について、学術賞をJSBP Young Investigator Award, 国際学会発表奨励賞をJSBP Travel Awards for International Meetingsとすることとなった。

#### 7. WFSBP 報告(尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer)

尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer より以下の

通り報告された。

#### ① 9th World Congress of Biological Psychiatry

日時: 2009年6月28日~7月2日

会場: Palais Des Congres De Paris (仏・パリ)

#### ② WFSBP Board Meeting

2nd WFSBP Asia-Pacific Regional Meeting

期間中の9月13日に開催される予定。

#### ③ WFSBP の役員選挙について

平安理事を推薦することとなっている。

#### 8. 名誉会員推薦の件(大森理事)

前回理事会で、本学会名誉会員として佐藤光源元理事長、融道元理事長を推挙することが決定されたことを受け、正式な推薦状が提出され、承認された。

#### 9. 第30回学会準備状況報告(倉知会長)

翌日より開催される第30回年会について以下の通り報告され、以降、2nd WFSBP Asia-Pacific Congress 準備会議として議論された

会期: 2008年9月11日(木)~13日(土)

会場: 富山 ANA ホテル(富山)

会長: 倉知正佳(富山大学大学院医学薬学研究部(医学)精神科早期治療開発講座)

共催: 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress 佐藤光源(東北福祉大学大学院精神医学)

合同: 第51回日本神経化学会 武田雅俊(大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室)

海外からも含め多数の演題数と参加者数を予定しており、現在予定通りに進行中であることが報告された。

#### 10. 第31回学会準備状況報告(林次期会長)

第31回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期: 2009年4月23日(木)~25日(金)

会場: 国立京都国際会議場

会長: 林 拓二(京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学)

#### 11. 第32回年会開催について(中村理事)

第32回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期: 2010年10月7日~9日

会場: リーガロイヤルホテル小倉(予定)

会長：中村 純（産業医科大学精神医学教室）  
以上にて閉会

### 第 31 回日本生物学的精神医学会のお知らせ

テーマ：精神病理の生物学的理解を目指して

会 期：2009 年 4 月 23 日（木）～ 25 日（土）

会 場：国立京都国際会館

〒 606-0001 京都市左京区宝ヶ池

TEL：075-705-1234

会 長：林 拓二（京都大学大学院医学研究科  
脳病態生理学講座・精神医学 教授）

問い合わせ先：第 31 回日本生物学的精神医学会

事務局：京都大学大学院医学研究科

脳病態生理学講座・精神医学

運営事務局：株式会社ジェイコム

コンベンション事業本部内

〒 530-0001 大阪市北区梅田 2-2-22

ハービス ENT 11 階

TEL：06-6348-1391（代）

FAX：06-6456-4105

E-mail：jsbp31@jtbcom.co.jp

第 31 回日本生物学的精神医学会ホームページ：

<http://jsbp31.jtbcom.co.jp>

#### 【プログラム（予定）】

プレナリー・レクチャー

“Early Recognition and Prevention of Schizophrenia”

Joachim Klosterkötter, Professor, Dept. of Psychiatry and Psychotherapy, Univ. of Cologne

特別講演 1. 乾 敏郎（京都大学大学院情報学研究科 教授）

2. Gerald Stöber, Professor, Dept. of Psychiatry and Psychotherapy, Univ. of Würzburg

会長講演 “精神病理の生物学的理解を目指して”

林 拓二（京都大学大学院医学研究科  
脳病態生理学講座・精神医学 教授）

#### シンポジウム（予定）

1. 統合失調症の神経画像研究・アップデート

2. 児童期双極性障害

3. 広汎性発達障害の生物学的精神医学の到達点

4. ECT についての生物学的トピック

5. 脳と責任能力

6. てんかん性精神病の今日的な理解

7. 緊張病について：統合失調症か、それとも躁うつ病か

このほか、一般演題（口演・ポスター）、ランチョンセミナー、教育セミナー等を予定しております。

#### 【学会参加登録】

(1) 参加登録費：

会員 事前登録 10,000 円（当日登録 12,000 円）

非会員 事前登録 12,000 円（当日登録 14,000 円）

学生 事前登録 5,000 円（当日登録 5,000 円）

懇親会（一般）事前登録 5,000 円（当日登録 6,000 円）

懇親会（学生）事前登録 3,000 円（当日登録 4,000 円）

（抄録集販売費：2,000 円 日本生物学的精神医学会会員は無料配布）

(2) 事前参加登録締切：2009 年 3 月 10 日（火）  
当日消印有効

(3) 事前参加登録方法：事前参加登録は本誌に綴じ込みの郵便払い込み用紙ご利用の上、郵便局よりお振込みください。詳しくはホームページをご覧ください。なお一度振り込まれました参加登録費は返金できませんので予めご了承ください。

#### 【一般演題（口演・ポスター）募集】

(1) 受付期間：2008 年 11 月 20 日（木）～ 2009 年 1 月 15 日（木）

演題締切後、応募希望の方は運営事務局へお問い合わせください。

(2) 申込方法：一般演題（口演・ポスター）の申込は全てインターネットで受付中です。学会ホームページ（<http://jsbp31.jtbcom.co.jp>）よりお申し込みください。

詳細はホームページをご覧ください。